

## 理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

## 基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

血糖値が高いまま、放置していませんか？

# 糖尿病のこと



11月14日は  
世界糖尿病デー

## 糖尿病へ至る プロセス

私たちが食事をして、デンプンなどの糖質が体内で消化・分解されるとブドウ糖が作られます。そのブドウ糖が腸管から血管内へ吸収され、体中の細胞に運ばれて取り込まれることで身体を動かすエネルギー源となります。

血液中のブドウ糖を細胞へ取り込む際には、すい臓で作られるインスリンというホルモンが必要ですが、すい臓に問題があったり生活習慣病や加齢などが原因でインスリンの分泌や働きが悪くなると細胞にうまく取り込むことができず、血液中のブドウ糖濃度が高くなり高血糖と言われる状態になります。これが糖尿病の病態です。

## 糖尿病と合併症

高血糖の状態のまま放置していると活性酸素が発生して血管壁を傷つけます。そこに白血球やコレステロールが集まり、血管壁に蓄積していくことで動脈硬化が進行します。動脈硬化により血管内が狭くなるため血流の悪化につながります。毛細血管でも同様に血流が悪化し、細胞に必要な酸素や栄養が不足するため体中の各臓器に障害を及ぼし、合併症へと至ります。

合併症が進行すると糖尿病網膜症による失明や、糖尿病腎症によって人工透析が必要になったり、糖尿病足病変によって足の切断にいたることもあります。

ドックや健康診断で血糖値が高く精密検査を勧められたら、早めに受診しましょう！

## 自覚症状

- のどが渇く(口渇)
- トイレが近くなる(多尿)
- だるくなる(倦怠感)
- 手足の先がしびれたりピリピリ痛む
- 痩せてくる
- 物が見えにくくなる
- 意識がなくなる(昏睡)

## 糖尿病による合併症リスク

- 網膜症
- 腎症
- 神経障害  
膀胱障害、顔面神経麻痺、手足のしびれや知覚低下、外眼筋麻痺 など
- 脳卒中
- 歯周病
- 心筋梗塞
- 皮膚の病気 など

イベント  
お知らせ

世界糖尿病デー・世界COPDデー Wキャンペーン

無料検査

簡易血糖値測定・肺年齢測定 など

日時 令和6年11月8日(金) 14:00~16:00

場所 イオンモール鳥取北 モール等1階 GU前スペース

主催 鳥取市(健康づくり推進課、保険年金課医療費適正化推進室)

共催 鳥取市立病院

協力 イオンモール鳥取北、明治安田生命保険相互会社、鳥取市民健康づくり地区推進員連絡協議会

# 当院の心不全治療

## うちの「心臓サポートチーム」とは？

を開催しました

2024年10月12日(土)、とりぎん文化会館第1会議室で、「当院の心不全治療～うちの心臓サポートチームとは～」と題して、医療関係者だけでなく、一般の方々に心不全について広く知っていただくことを目的に研修会を開催しました。

### 心不全は、病名じゃない？

座長の当院循環器内科の田淵医師をはじめ、当院心臓サポートチームの看護師、理学療法士、薬剤師がそれぞれ講演した後、パネルディスカッションを行いました。

今回のテーマである「心不全」。田淵医師は、心不全は病名ではなく「心臓が悪くなっている状態」を示す言葉だと説明しました。心不全の原因は心筋梗塞、心房細動、弁膜症など多岐にわたり、脈が速い、胸水、浮腫などの身体のサインや動悸、息切れ、疲労感などの症状が現れると話しました。

そして、心不全の治療について、薬物療法や手術、カテーテル治療などの非薬物療法についても解説。しかし、治療で改善して「もう大丈夫」と安心してしまい、その後何も対策をしなければ、再び心不全による急性増悪を繰り返してしまうと付け加えました。

### 心不全を繰り返さないために

田淵医師の講演後は、心不全予防のコツや、心臓リハビリテーションなどについての講演が行われました。食事において塩分を摂りすぎないことや、控える工夫などの紹介、そして、心不全予防に役立つ簡単な運動を一緒に行うなど、心不全予防に対する関心を深めることができました。



講演の様子は、後日当院のYouTubeチャンネルに公開する予定です。公開時には当院ホームページにてお知らせいたします。

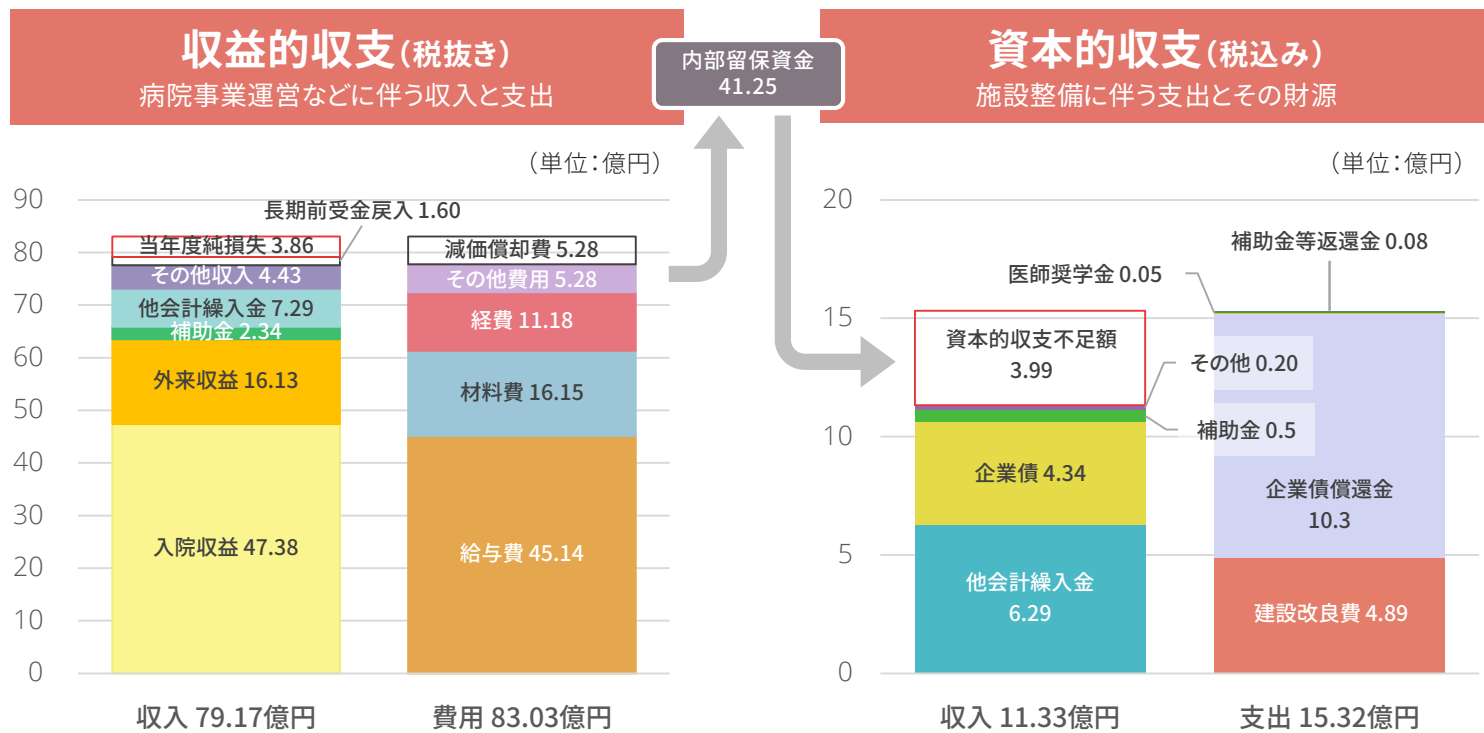
# 令和5年度 病院事業会計の決算状況

令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)病院事業会計の決算は、令和6年9月市議会定例会で認定されました。

病院事業の運営や施設の維持管理に関する収益的収支では、入院・外来収益が前年度より約3,000万円増加したものの、新型コロナウイルス関連の補助金の終了や物価の高騰、人件費の上昇などにより、3億8,600万円の当年度純損失(赤字)となりました。

また、資本的収支では、新たな医療機器の更新等を行い、収支差引不足額3億9,900万円を内部留保資金で補填しました。

当院では、持続可能な医療提供体制を確保するため、「鳥取市立病院経営強化プラン」を策定し、経営のさらなる効率化に取り組んでいます。今後も、高度医療や救急医療、がん診療に加え、地域包括ケアシステムで求められる高齢者医療、在宅医療など、地域住民のみなさまへの医療の提供に努めます。



## 用語解説

### 減価償却費

施設や設備の新設・改良にかかった費用を、耐用年数に応じて毎年費用化したもの(現金支出を伴いません)

### 長期前受金戻入

施設や設備の新設・改良にあたり交付を受けた補助金等の収入を、減価償却費相当分について毎年収益化したもの(現金収入を伴いません)

### 他会計繰入金

病院事業会計で受入する、市の一般会計が負担すべき経費相当額

### 建設改良費

施設や設備の新設・改良にかかった費用

### 企業債

施設や設備の新設・改良費用を賄うための借入資金

### 内部留保資金

減価償却費など、現金の支出がない費用計上を含む収支によって生じた資金